

学習課題（小学校2年生）



【国語】

〈学習内容〉

- ◆「読んで、かんじたことをつたえ合おう『スーホの白い馬』」（107～126 ページ）にとり組みます。（前回のつづき）

お話を読んで心をうごかされたところをつたえる学しゅうです。

- (1) 「スーホの白い馬」をもう一ど読み、お話のじゅんに、「スーホ」や「白馬」の **したこと** や **言ったこと** で、強く心がうごかされたところを見つけましょう。

- ④「とのさま」のところからにげ出す「白馬」

（教科書 116 ページ 11 行目から 119 ページ 7 行目まで）

- ⑤「スーホ」のところに帰ってきた「白馬」

（教科書 119 ページ 8 行目から 121 ページ 3 行目まで）

- ⑥馬頭琴を作る「スーホ」

（教科書 121 ページ 4 行目からおわりまで）

※「スーホ」や「白馬」の、「したこと」、「言ったこと」に線を引いて、線を引いたぶぶんから、強く心がうごかされたところをえらんでもいいですね。

- (2) (1)で見つけてえらんだところから、強く心がうごかされたりゆうをノートやとりくみシートに書きましょう。

- (3) (1) (2)の中で、あなたがいちばん心をうごかされたのはどこですか。えらんだところとそのりゆうを、ノートやとりくみシートにかいたあと、おうちの人につたえましょう。

- ◆「思いをつたえる手紙を書こう『すてきなところをつたえよう』」（127～132 ページ）にとり組みます。

- (1) 1年をふりかえって、つたえるところをきめます。だれに、どんなすてきなところをつたえたいですか。友だちでも、家ぞくでもいいですね。その人のすてきなところと、あなたがそうかんじたときのことを、ノートやとりくみシートに書き出しましょう。

※129 ページのれいのように、みじかいことばで書きましょう。

- (2) 教科書130ページを読んで、手紙の書き方をたしかめましょう。あいてが読みやすいように、ていねいに手紙を書きましょう。

※手紙は、おうちにある紙に書いてもいいですし、ノートやとりくみシートに書いてもいいです。

- (3) 書いた手紙を読みかえしましょう。

※131 ページに読みかえすときのポイントがのっていますので、かくにんしてからするといいいですよ。

- (4) あいてにわたしましょう。

※132 ページに手紙をもらったときのへんじの書き方がのっています。へんじを書くときのさんこうにしてください。

しよしゃ

◆しよしゃの教科書26～31ページにとり組みます。

- (1) 26～27 ページの「いろはうた」と「かん字図かん」を読みましょう。

- (2) 26 ページの「いろはうた」をえんぴつで、ていねいになぞりましょう。

- (3) これまでに学んだことに気をつけて、28～31 ページのかだいにとり組みます。

※ノートやとりくみシートにうつしてとり組んでもいいです。

◆あたらしいかん字「計(129 ページ)」～「直(131 ページ)」まで、ノートやとり組みシートにれんしゅうしましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「スーホの白い馬」では、前回から引き続き、心が動かされたところを選びます。最後に全体の中から一番心が動かされたところを選び、伝えるという学習があるので、選んだところとその理由を聞いてあげてください。
- ・ホームページ「文部科学省子供の学び応援サイト」で紹介されている「NHK for School」の番組「おはなしのくに」では、「スーホの白い馬」の読み聞かせを視聴することができます。馬頭琴の音色も聞くことができますので、可能であれば、見せてあげてください。
- ・「すてきなところをつたえよう」では、手紙を書いて相手にあげたり、もらった手紙の返事を書いたりします。おうちの方宛てに手紙を書いたとき、おうちの人からも手紙を書いてあげることで、意欲的に学習に取り組むことができます。